



校報

水糸者

No. 1250

元年度・第109号

学習発表会で一緒に校歌を歌いましょう！

本校の校歌については平成29年10月25日の校報918号と11月1日の校報923号で紹介したとおりですが、今回はその記事の概要をご紹介します。

なお29年度の校報も本校ホームページで閲覧できますのでご覧ください。

作詞者の兼田清一郎先生は、本校の初代校長先生として、明治34年から大正8年までの、実に20年余りの長きにわたり、本校教育の礎を築いてくださった方で、その後、旧侍浜村の村長さんや旧久慈町の町長さんを務めたお方です。作曲の、陸軍戸山学校軍楽隊は、軍楽隊として国内屈指の実力を誇った楽団だったようです。今でいえば、NHK交響楽団のような立場や位置付けだったのでしょうか。

また、編曲者の安藤睦夫さんについては、本町の出身でもあるので、多くの方がよくご存じでしょうから詳しい紹介は省きますが、北上夜曲や南部ダイバーなど、日本全国老若男女誰もが知っている名曲を数多く作曲したほかに、宿戸小学校や種市高等学校、旧平内小学校などの校歌や県北青少年の家の所歌も作曲されている郷土が誇る方です。

また、種市小学校創立100周年記念誌「江浜百載」（昭和52年）には、

本校の校歌は、明治45年の制定といわれており、待望の久しかった高等科併置を機に制定されたものと思われます。作詞は、初代校長の兼田清一郎先生、作曲は陸軍戸山学校軍楽隊となっています。

この校歌制定から約70年間時代の変遷に左右され改正や補正することなく、親子四代にわたり唱和続けている学校は、先ず珍しいことで、伝統ある校歌として大いに誇ってよいことです。

～略～

なお、本校の校歌について、心ある人達から不思議というか驚異と考えられているのに陸軍戸山学校軍楽隊の作曲がある。今でこそ自衛隊の楽団などと馴々しく言っているが、昭和20年までの人の感覚では超一流で、当時の音楽を志す青少年にとっては、憧れの隊で別世界の話。～略～

それに作曲依頼は、岩手の片隅みの名もない小規模の寒村校で当時如何なる手づるで、どんな方法で、そして謝礼などは等考えると不思議の一語につきる。記録も言い伝えもなく残念だが格別の努力格別の努力の奔走の賜であつたればこそと労を謝さずにはいられない。～略～

と、記されています。

なお、県内の校歌事情に大変詳しい、盛岡市立上田中学校の校長先生を最後にご退職された、佐々木正太郎先生(久慈市出身)の著作「岩手の校歌ものがたり」によると、県内で最初に校歌が制定された学校は、明治35年の水沢小で、次に江刺郡上口内小(現在の北上市立口内小)、その後、盛岡市立桜城小や盛岡中(現在の盛岡一高)や福岡中(現在の福岡高)らの学校に続き、盛岡高等女学校(現在の盛岡二高)と同じ年の明治45年に本校の校歌が制定されています。

その後、盛岡市立仁王小(大正2年制定)や盛岡市立城南小、岩手町立沼宮内小(大正3年制定)、盛岡尋常高等小(現在の下橋中；大正11年制定)などと続きます。

本校の校歌には「なぜ、校歌が明治時代に制定されたのか?」、「なぜ、陸軍戸山学校軍楽隊が作曲されたのか?」、「なぜ、本校の校歌は太平洋戦争後に変更されなかっただろうか?」という、『種小校歌の3大不思議』がありますが、以前、本校にかつて勤務されていた、町内在住の工藤 亨先生（私(校長)が種小の5年生の時の担任の先生でもあります）が来校され、校歌の3大不思議に関する興味深い話をされました。



【工藤 亨先生が、校長室で語ったこと（概要）】

明治・大正・昭和・平成と歌い継がれたこの校歌は何と素晴らしい事でしょう。

特に太平洋戦争後のリベラリズム横行の際にも排撃されず歌い継がれたことは驚きに値します。（略）幾世代にもわたり歌われたこの校歌は、次の事柄が考えられる。

一番「ゆるがぬ姿勢 着実のわれら」（略）三番「こげや大船 風吹かば吹け」と、力強く歌わせているが最後に「知徳の方向 あやまらず進め」とあるのが、非常に生きていて、平和を願った時代とこの歌詞が一致したから、この校歌は残されたのではないかと考えている。



明治から令和の時代にわたり、歌い継がれてきている校歌を持っている学校は、県内でもほんの数校しかないことは紛れもない事実です。

そして、校歌の最後の歌詞となっている「知徳の方向 あやまらず進め」は、時代を超え『不易の価値』であることをかみしめながら、9日の学習発表会では子ども達と一緒に校歌を斉唱しませんか。

特別養護老人ホーム「希望」を訪問しました

10月31日に2年生の子ども達は、学区内にある「特別養護老人ホーム・希望」を訪問し、施設を利用している方や施設の職員さんと交流を図りました。

施設を利用しているお年寄りの方々は、子どもたちの訪問を心待ちにしていたようで、たくさんの笑顔で歓迎してくれました。



おじいさんおばあさんと「ハロウィンパーティー」を楽しむ2年生



「特別養護老人ホーム・希望」の皆さんから、お礼のお手紙までいただきました。

2年生の子ども達は、おじいさんやおばあさん方々の笑顔に接し、人に喜ばれるうれしさや人のために役立つうれしさを味わっているようで、どの子も笑顔になっていました。

校歌をリクエストされ、歌って来たそうですよ。